

# 平成 30 年度 通常総会議事資料

<2018 年 6 月 3 日>

## <議 事>

- |        |  |
|--------|--|
| 1 日 時  | 平成 30 年 6 月 3 日 (日) 15:15~17:15 受付開始 15:00   |
| 2 会 場  | 北海道大学学術交流会館<br>北海道札幌市北区北8西5  |
| 3 付議事項 | 第一号議案 平成 29 年度事業報告並びに決算及び監査報告について<br>第二号議案 平成 30 年度事業計画並びに予算について<br>第三号議案 平成 30 年度役員を選任について<br>第四号議案 定款の一部変更について |

特定非営利活動法人

日本ファシリテーション協会

## 平成29年度事業報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

平成29年度のFAJは、全国各地の支部や委員会などにおける会員の多彩な取り組みや、リアル/オンラインでの拠点間の横断的な連携、FAJ外への支援や交流により、「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」活動を行った。

**調査・研究事業:** 定例会、例会等において、非会員も含むFAJ内外のファシリテーターとの研鑽の場づくりを進めた。さらに、オンラインの活用を増やし、地理的・時間的制約を超えて探求の場を広げた。

**教育・普及事業:** 参加者満足度の高いセミナーとそのアフターミーティングを全国で開催した。地域間の連携でセミナー運営の充実・効率化を図るとともに、新コンテンツの開発を開始した。

**支援・助言事業:** ファシリテーションへの多様なニーズに対応するための運営の改善、コーディネーションの充実を図るとともに、引き続き東日本大震災、熊本地震および九州北部豪雨の復興支援活動にファシリテーションを届けた。

**交流・親睦事業:** 多彩なテーマにより全国各地で地域イベントを開催したことをはじめ、国境や文化・言語を越える交流・連携と情報発信をとらしてファシリテーションのインパクトを各所に届けた。

**広報・コミュニケーション活動:** FAJ内の活動や、知見・事例を組織外に発信するための広報のあり方について整理し、体制の見直しに着手した。WEBサイト移行を実施し、運用定着に向けたサポートを行った。

**ミッションおよび組織運営に関わる活動:** オンライン会議システムの積極的活用や、拠点横断的なスタッフ会議の開催、災害復興支援活動への募金活動などをとらして、運営体制の拡充強化を行った。

以下、事業計画に沿って、事業の概要を報告する(括弧内は担当組織を表す)。

### 1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

#### 1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(各支部運営委員会)

- 定例会、例会等において、様々なテーマで相互研鑽の場を運営し、FAJ内外のファシリテーターを招き探求の場を作った。
- 昨年度の非会員有料参加の試行結果を受け、非会員が参加し、共に研鑽する場を各支部の判断で開いた。
- オンラインでつなぐ定例会・例会を各支部・サロンで開催し、オンライン・ファシリテーションの活用を広げた。

#### 2) ファシリテーションの本質を研究(理事会、シンポジウム実行委員会)

- 2017年5月に福岡で5回目のシンポジウムを開催した。非会員を含む230名を超える参加者が集った。24件の研究発表から会員の知見を共有する分科会と、3チームによるF力測定を実施した。
- これまでのシンポジウムの実績や成果を踏まえ、今後の全国イベントに関する検討を開始した。

### 2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

#### 1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- 後述のとおり、30会場44クラスのセミナーを開催した。また、セミナー受講者に対しアフターミーティングを4回開催した。
- 講師トライアルを2回開催し、新たな准講師が2名誕生した。さらに、基礎セミナーのコンテンツをよりわかりや

すく改良した。

- オンラインによるセミナー委員のミーティング開催等、セミナー運営の充実を図った。また、地域を越えて運営をサポートする仕組みを試行し、運営スタッフの負担集中を軽減することができた。

## 2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会、公開セミナー委員会)

- セミナー委員会内に実践編コンテンツ構築チームを結成してコンテンツ開発を進め、実践編のパイロットセミナーを実施した。

## 3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

### 1) 継続的な活動を支える基盤の整備 (ファシリテーションサポート委員会)

- 依頼者の多様なニーズに対応し、依頼案件の割り振りや会計等役割の見直しを行い、管理面の改善に取り組んだ。
- 案件に初めて関わる会員にサブファシリテーターを担ってもらうことにより、実践とともに事業に対する理解を広げた。

### 2) 社会からの多様な要請に対する支援 (ファシリテーションサポート委員会)

- 事業を安定的・効果的に実施していくため、担当コーディネーターが依頼者からニーズを丁寧に聴き取ることで、潜在ニーズを把握し適切なコーディネーションを行った。
- 東日本大震災及び熊本地震に関わる行政、団体が実施する話し合い等の支援を引き続き行った。九州北部豪雨被災地への支援活動を行うネットワーク会議に対し会員の参画を得て支援を行った。また、防災・減災に取り組む地域、大学、子ども向け活動を支援するとともに、それら団体との関係作りを強化した。
- ファシリテーションを必要とする教員等に向け、ワークショップを行った。活動の方向性を検討した結果、教育ファシリテーション推進グループの活動を終了し、サポートデスクと一体的に活動することとした。

## 4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

### 1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 各地域において多彩なテーマで支部イベントを開催し、FAJ内外にファシリテーションのインパクトを届けた。

### 2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化 (理事会、グローバルファシリテーション推進委員会)

- 2018年9月に開催予定のIAFアジア大会の共催を決定し、IAF-Japanと共に実行委員会を立ち上げ、準備を開始した。
- 災害復興支援室活動報告「ファシリテーション わたしたちにできること」の英訳を行い、一部HPへの掲載を行った。
- IAF台湾チャプターとの交流や、在日外国人向けの英語によるワークショップを実施した。

### 3) 他団体との連携強化 (理事会、各支部運営委員会、本部事務局)

- 他団体のイベントに、ファシリテーターとして協力する取り組みを行った。

## 5 広報・コミュニケーション活動

### 1) 広報・コミュニケーション機能の強化と体制の検討 (理事会、ウェブ編集委員会、ニューズレター委員会、事務局)

- 広報内容や広報媒体・方法のありたい姿を具体化し、広報機能強化の検討に着手した。

### 2) ウェブサイト・リニューアルの継続 (理事会、ウェブ編集委員会、各拠点)

- リニューアル作業を実施し、運用定着に向けたサポートを行った。WEBサイトの多言語対応を一部実施した。

### 3) ファシリテーションの実践に役立つ情報の提供(ニューズレター委員会)

- ニューズレターを年2回発行するとともに、会員に有益なコンテンツを届けるニューズレターの発行を維持する

ため、編集指針や運営方法の検討に着手した。

## 6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

### 1) 運営体制の拡充・強化と最適な運営方法の検討（理事会、各拠点、事務局）

- オンライン会議システムを導入し、100回を超える運営ミーティングに活用した。
- 関東地区では、横断的な情報共有・交流を目的として支部・サロン・委員会のスタッフが集まり、関東スタッフ会議を行った。
- 九州北部豪雨の支援活動において、寄付を募った(15件 332,736円)。

### 2) 各種制度改正への対応（理事会、事務局）

- 制度改正への対応はなかった。

# I 特定非営利活動に係る事業

## 1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
北海道支部 定例会	4月1日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	44	3
	5月6日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	22	2
	6月3日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	3	31	5
	7月3日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1、サークル	4	31	2
	8月5日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	2	29	2
	9月2日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	5	23	1
	10月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	2	16	2
	12月2日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	4	18	1
	1月6日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	34	1
	2月3日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	15	1
	3月3日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	4	22	1
			受益対象者延べ人数		306
東北支部 定例会	4月22日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第5会議室	3	12	13
	5月13日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第3会議室	3	12	2
	6月9日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第4会議室	3	7	1
	7月23日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第2会議室	3	14	10
	8月5日	宮城県仙台市 ノーバルビル 1階研修室	4	8	4
	9月2日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第4会議室	2	11	2
	10月7日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第5会議室	2	10	3
	11月4日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第4会議室	2	12	4
	12月2日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第4会議室	3	15	7
	1月6日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第7会議室	3	6	10
	3月3日	宮城県仙台市 仙台市市民会館 第6会議室	3	9	6
			受益対象者延べ人数		178
東京支部 定例会	4月22日	東京都品川区 スクエア荏原イベントホール、大・中会議室	18	109	49
	5月21日	東京都品川区 スクエア荏原イベントホールA・B・C、大・中会議室	17	109	4
	6月9日	東京都品川区 総合区民会館きゅりあん リハーサル室	24	113	6
	6月24日	東京都品川区 スクエア荏原イベントホールB・C、大会議室			
	7月22日	東京都台東区 区民会館 第一・第二・第三会議室	21	84	21
	8月26日	東京都品川区 総合区民会館きゅりあん 大会議室、第一・第三・第四	18	99	9
	9月23日	東京都北区 北とびあ研修室A・B2、第一研修室、802、第一和室	37	124	9
	10月28日	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズ レインボー、シンフォニー、ライフック、ビジュアルルーム	16	97	7
	11月12日、13日	群馬県利根郡みなかみ町 泊まれる小学校 さる小	31	83	3
	11月25日	東京都品川区 スクエア荏原イベントホールA・B、中会議室			
	12月16日	東京都千代田区 ちよだプラットフォームスクエア 会議室501+502、会議室504+505、506会議室、Room001	19	59	6
	1月27日	東京都台東区 東京文具共和会館 4階B・C会議室、3階C会議室	14	96	13
	2月2日	港区立生涯学習センター(ばるーん)303学習室	7	9	9
	3月24日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホールA・B・C、中会議室	23	86	13
			受益対象者延べ人数		1,217
中部支部 定例会	4月15日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室	4	47	3
	5月20日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター 第二・第三集会室	5	34	5
	6月17日	愛知県名古屋市 名城大学 社会連携ゾーンshake	8	37	8
	7月15日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室、東生涯学習センター 第2集会室	4	44	4
	8月19日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室、東生涯学習センター 第4集会室	7	33	2
	9月16日	愛知県名古屋市 東桜会館 第1会議室、第2会議室・附室	11	40	17
	10月21日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター料理室、東桜会館第2会議室	5	30	14
	12月16日	愛知県名古屋市 南山大学 D棟 D51教室、東桜会館 第2会議室	5	34	50
	1月20日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室	4	23	5
	2月17日	愛知県名古屋市 東桜会館 第1会議室	4	34	8
	3月17日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室、東生涯学習センター 第2集会室	11	29	2
			受益対象者延べ人数		503
関西支部 定例会	4月8日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502会議室	7	49	4
	5月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502会議室	13	70	4
	6月10日	大阪府大阪市 東淀川区民会館 会議室1、2、洋室1	6	45	3
	7月8日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502会議室	25	63	4
	8月5日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 403、502会議室	5	39	0
	9月10日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401、402、502会議室	10	54	1
	10月14日	大阪府大阪市 東淀川区民会館 会議室1、2、洋室1	9	60	5

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
関西支部 定例会	11月11日	兵庫県尼崎市 尼崎総合文化センター 第2会議室	4	50	8
	12月9日	和歌山県和歌山市 和歌山城 岡公園、兵庫県西宮市 西宮市民会館 401、502会議室	21	93	17
	12月29日、30日	兵庫県神戸市 スペースアルファ神戸			
	1月13日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、302、303会議室	13	62	6
	3月10日	大阪府大阪市 東淀川区民会館 会議室1、2、和室3	13	32	8
受益対象者延べ人数					677
中国支部 定例会	4月15日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	5	17	5
	5月20日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	24	4
	6月17日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	9	5
	7月15日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	4	6	4
	8月19日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	11	7
	9月16日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	5	9	11
	10月21日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	11	3
	11月18日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	7	3
	12月16日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	4	12	9
	1月20日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	3	10	14
	2月17日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	6	6
	3月17日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	2	19	10
	受益対象者延べ人数				
九州支部 定例会	4月1日	福岡県福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん セミナールーム	3	22	6
	5月13日	福岡県福岡市 リファレンス大博多ビル セミナールーム1203、セミナールーム1204	5	14	1
	6月3日	福岡県福岡市 健康サポートセンター あいれふ 視聴覚室 A+B	2	19	0
	7月1日	福岡県福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん セミナールーム	3	24	2
	8月5日	福岡県福岡市 福岡商工会議所 会議室408	3	24	9
	9月2日	福岡県福岡市 ももちパレス 特別会議室	6	15	8
	10月7日	福岡県福岡市 福岡市健康づくりサポートセンターあいれふ A研修室	4	20	6
	11月4日	福岡県福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん セミナールーム	6	23	6
	12月2日	福岡県福岡市 なみきスクエア 視聴覚室	4	21	7
	1月13日	福岡県福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん セミナールーム	4	18	6
	2月3日	福岡県福岡市 福岡市健康づくりサポートセンターあいれふ A研修室	2	17	5
	3月3日	福岡県福岡市 福岡商工会議所 会議室407	4	33	1
	受益対象者延べ人数				
ファシリテーション・シンポジウム	5月27日～28日	福岡県福岡市 電気ビル(本館&共創館)	23	190	43
受益対象者延べ人数					233
サロンサポート	—	地域型11か所(秋田・埼玉・群馬・新潟・富山・和歌山・岡山・四国・熊本・佐賀・沖縄)、テーマ型3か所(ビジネスファシリテーション・TOC×Facilitation、オンラインファシリテーション研究)	—	—	—
受益対象者延べ人数					0

## 2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー	4月22日	大阪大阪・男女共同参画・青少年センター	11	16	24
	5月13日	名古屋名古屋市・ABC会議室 第8会議室	8	8	9
	5月20日	東京品川区スクエア荏原	24	23	37
	6月4日	東京目黒区大橋会館	7	9	11

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー	6月17日	京都京都府中小企業会館	10	6	34
	6月17日	福岡福岡ビル	7	7	13
	7月1日	沖縄沖縄産業支援センター	5	2	9
	7月9日	仙台仙都会館会議室	5	7	12
	7月15日	東京麻布台セミナーハウス	20	18	42
	9月2日	名古屋名古屋・ABC会議室 第8会議室	6	3	11
	9月16日	東京港区麻布台セミナーハウス	13	13	22
	10月15日	東京港区機械振興会館	8	5	15
	10月21日	福岡博多バスターミナル貸しホール第1・2	6	8	12
	10月28日	大阪大阪産業創造館	7	8	12
	11月18日	東京麻布台セミナーハウス	17	4	52
	11月25日	札幌札幌市産業振興センター	6	7	2
	11月25日	広島ひろしまNPOセンター会議室	5	4	5
	11月25日	香川県、高松市・レグサムホール	3	3	9
	12月2日	名古屋名古屋・ABC会議室 第8会議室	6	10	3
	12月9日	富山高岡市生涯学習センター	5	10	0
	1月20日	東京港区 機械振興会館	18	6	54
	2月10日	沖縄沖縄産業支援センター	5	2	7
	2月17日	福岡博多バスターミナル貸しホール第12・13	7	16	4
	2月18日	群馬群馬県公社総合ビル 4階第1会議室	6	3	13
	2月24日	仙台仙都会館5a会議室	6	10	9
	2月24日	神戸神戸センタープラザ西館 6階 17号室	6	4	16
	2月24日	岡山オルガビル4階マウント	6	8	7
	2月24日	札幌札幌市産業振興センター	4	4	4
	3月4日	名古屋名古屋・ABC会議室 第8会議室	7	10	10
	3月17日	東京麻布台セミナーハウス	19	20	38
受益対象者延べ人数					750
アフターミーティング	6月17日	東京都目黒区 原町住区会議室	13	7	0
	5月13日	兵庫県西宮市民会館	2	5	1
	12月9日	兵庫県西宮市民会館	2	1	0
	2月24日	東京都港区 青山生涯学習館	8	11	3
受益対象者延べ人数					28

### 3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ファシリテーションサポート委員会	5月21日	佐賀県嬉野市・行政対象にワークショップ実施支援	3	0	40
	5月25日	東京都世田谷区・幼稚園職員対象にファシリテーション研修	2	0	12
サポートデスク	5月26日	大阪府堺市・小学校連合会の小学校教員対象にファシリテーション研修	3	0	36
	6月10日	舞鶴市・行政職員に向けたファシリテーショングラフィック研修	2	0	17
	6月11日他1回	愛知県岩倉市・NPO法人主催ワークショップのファシリテーション支援	2	0	68
	6月21日	東京都千代田区・中央省庁の職員向けファシリテーション研修	2	0	34
	6月22日	東京都新宿区・公的機関職員のファシリテーション研修	2	0	16
	7月21日	東京都港区・民間企業の社員対象ワークショップ進行支援	2	0	24
	7月23日	佐賀県嬉野市・行政職員実施のワールドカフェ進行支援	2	0	27
	7月27日他7回	東京都北区・地域のさずなづくり事業で地域円卓会議の進行支援	14	0	173
	7月30日	埼玉県蓮田市・公立病院の看護師長対象にファシリテーション研修実	2	0	28
	8月27日	東京都多摩市・任意団体主催市民向けワークショップ進行支援	6	0	17
	8月31日他3回	東京都練馬区・地域包括支援係へのファシリテーション研修	8	0	118
	9月5日	宮城県仙台市・行政主催中小企業活性化ワークショップ進行支援	2	0	16
	9月6日	山口県山口市・大学教員・研究者向けのファシリテーション研修	2	0	22
	9月10日	福岡県福岡市・病院グループの職員向けファシリテーション研修	2	0	30
	9月13日他2回	静岡県静岡市・静岡県茶業会議所主催ワークショップの進行支援	11	0	46
	9月14日他1日	長野県長野市・JA職員対象にファシリテーション研修	4	0	50
	9月18日他1日	神奈川県熱海市・民間企業運動部のビジョン作り会議進行支援	3	0	12

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
サポート デスク	9月30日	東京都羽村市・任意団体主催市民向けグラフィックファシリテーション研修の支援	2	1	31	
	10月2日	京都府京都市・大学教員向けファシリテーション研修	4	0	27	
	10月7日	広島県広島市・社労士事務所職員向けファシリテーション研修	2	0	11	
	10月13日他2回	千葉県君津市・行政職員対象の地域の課題出しワークショップ進行支援	16	2	122	
	10月18日	埼玉県さいたま市・中央官庁職員向けのファシリテーション研修支援	1	0	40	
	10月20日	大阪府泉佐野市・民間企業主催の住民向けワークショップ進行支援	2	0	20	
	10月24日他3回	青森県青森市・病院グループの職員向けファシリテーション研修	8	0	210	
	10月26日	東京都中央区・中央官庁主催研修でのファシリテーション研修講師	1	0	40	
	11月8日	東京都港区・静岡県茶業会議所主催グループインタビューの進行支援	3	0	8	
	11月10日	東京都世田谷区・社協職員向けファシリテーション研修	2	0	11	
	11月16日	千葉県千葉市・社会福祉協議会ファシリテーション研修	3	0	40	
	11月18日	千葉県習志野市・大学学生向けファシリテーション研修	1	0	20	
	11月18日	福島県郡山市・医療福祉従事者向けファシリテーション研修	2	0	60	
	11月18日	東京都渋谷区・大学学生向けファシリテーション研修	3	0	24	
	11月21日	東京都狛江市・社会福祉協議会職員向けファシリテーション研修	2	0	15	
	11月25日	神奈川県足柄上郡・行政主催市民向けワールドカフェの進行支援	2	0	16	
	11月29日	北海道札幌市・行政主催市民カレッジでのファシリテーション研修	2	0	10	
	11月30日	千葉県山武市・任意団体会員向けのファシリテーション研修	2	0	8	
	12月20日	長野県箕輪町・町議会議員へのファシリテーション研修	2	0	8	
	1月15日	愛知県名古屋市中区・中央省庁の職員向けファシリテーション研修	2	0	20	
	1月16日	岐阜県瑞穂市・市民向けワークショップ実施支援	1	0	13	
	1月25日他1回	広島市中区・広島看護協会に対するファシリテーション研修	8	0	97	
	2月4日	岐阜県瑞穂市・市民向けワークショップ実施支援	2	0	52	
	2月16日	北海道札幌市・法務省北海道保護観察所職員向けファシリテーション	2	0	13	
	2月20日他2回	大阪府大阪市・民間企業社員向けファシリテーション基礎研修	6	0	86	
	3月4日	福島県福島市・NPO団体の意見交換会ファシリテーション支援	2	0	17	
	3月26日	愛知県田原市・議会議員向けファシリテーション研修	2	0	14	
	3月31日	東京都千代田区・東京私教連幼稚園部へのファシリテーション研修	2	0	16	
	災害復興支援 グループ	4月12日他11回	熊本県嘉島町・嘉島町連携会議支援	19	0	178
		5月20日	熊本県西原村・熊本地震1年・西原村大座談会支援	3	0	100
		6月10日他5回	宮城県仙台市・FANの実施(第1~3回)	6	1	35
6月23日他1回		熊本県嘉島町・嘉島支え合いセンター運営会議の支援	3	0	29	
6月26日他1回		福島県南相馬市・小高再建検討委員会支援	3	0	26	
7月(14日間)		福岡県朝倉市・九州北部豪雨支援者共有会議の支援	28	0	168	
8月(12日間)		福岡県朝倉市・九州北部豪雨支援者共有会議の支援	40	0	360	
8月4日		熊本県嘉島町・嘉島支え合いセンターの講座実施	2	0	16	
9月(13日間)		福岡県朝倉市・九州北部豪雨支援者共有会議の支援	26	0	156	
10月2日		山形県山形市・広域避難者支援会議の支援	8	0	42	
11月11日		愛知県名古屋市中区・つなぎ舎の支援	6	0	55	
12月1日		大阪府大阪市・JCN広域避難者支援活動の検証	2	0	9	
1月7日		兵庫県西宮市・全国被災地交流集会	4	0	111	
2月15日		福島県南相馬市・小高生活再建検討委員会の支援	2	0	12	
3月8日		東京都文京区・広域避難者支援ミーティングin東京の支援	6	0	52	
教育F推進 グループ		3月25日	愛知県名古屋市中区・実践発表会「未来の”みんなの学校”のためのポジティブ・アプローチ」	5	15	53
受益対象者延べ人数					3,256	

#### 4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
グローバル ファシリテーション 推進委員会	6月24日	東京都品川区 スクエア荏原イベントホールB・C、大会議室： 東京支部定例会『第5回英語deファシリテーション』	3	東京支部定例会に計上	
	11月3-5日	台湾ワークショップツアー	14	14	50
	3月24日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホールA・B・C、中会議室： 東京支部定例会『グラレコのエッセンスを考え、描き、実践する！』	3	東京支部定例会に計上	
			受益対象者延べ人数		64
地域イベント	4月15日	東京都台東区 浅草文化観光センター 中会議室	11	5	13
	11月11日	北海道札幌市 札幌エルプラザ 3F 大ホール	20	44	43
	11月18日	愛知県名古屋市 名城大学 社会連携ゾーンshake	15	25	16
	11月19日	東京都台東区 浅草文化観光センター 中会議室	14	3	11
	2月3日	広島県広島市 広島県民会文化センター(サテライトキャンパスひろしま)ひろしまNPOセンター交流スペース	9	16	8
	2月12日	宮城県仙台市 市民活動サポートセンター セミナーホール他	7	13	28
	2月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	15	63	50
	2月17日	東京品川区 スクエア荏原	24	85	119
				受益対象者延べ人数	
共催・後援等イベント	8月26・27日	東京都目黒区 協力:NPO法人 OD Network Japan(2016年次大会)	不特定多数		
	10月21日	東京都中央区 協力:International Institute of Business Analysis Japan Chapter(C3カンファレンス(ミニ版))	7	6	74
	12月5日	東京都文京区 協力:International Institute of Business Analysis Japan Chapter(C3カンファレンス(ミニ版))	6	0	80
	12月15日	広島県広島市 協力:株式会社日本政策金融公庫(ママサミット広島)	3	0	38
			受益対象者延べ人数		198

#### 5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ニューズレター	年2回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	9	約1600	-
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	15	不特定多数	
メールिंगリスト SNS	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国	12	約1600	-

#### 6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	5月28日	電気ビル本館8号室	120	-	-
理事会	4月16日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	13	-	-
	5月14日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	15	-	-
	7月2日	リソル生命の森	13	-	-
	7月30日	(拡大理事会)東京都港区公共施設にて	26	-	-
	9月3日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所 他各所オンラインにて	13	-	-
	9月24日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所 他各所オンラインにて	12	-	-
	10月22日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所一部オンラインにて	12	-	-
	11月19日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所 他各所オンラインにて	13	-	-
	12月17日	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス西館3階DW306 教室	12	-	-
	1月4日	(臨時理事会)各所オンラインにて開催	11	-	-
	1月27日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所一部オンラインにて	11	-	-
	1月28日	(拡大理事会)日比谷図書文化館 スタジオプラス	27	-	-
	2月25日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	13	-	-
	3月18日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	13	-	-

## II その他の事業

実施しなかった。

### ご寄附、ありがとうございました

会計収支報告書にもごぞいます通り、H29年度は「ファシリテーション支援募金2017」を呼びかけ、災害復興支援活動に対して、多くの方から寄附金をお預かりしました。この場をお借りして、御礼申し上げます。  
また寄附金は災害復興支援活動に充当させていただいたことをご報告します。

ご寄附いただいた方々(敬称略、日付順)

シンポジウム2017実行委員有志(9月)、藺田浩則・加藤朝史・林清尚・平井雅・加藤貴美子(10月)、向山聡・疋田恵子(11月)、小谷真司・青野志のぶ(12月)、相嶋亜紀子(1月)、鈴木まり子(2月)、西野靖江・関西支部合宿参加者有志・北海道支部イベント実行委員有志・尾上昌毅(3月)

平成29年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額（単位：円）		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	15,305,000		
法人会費	100,000	15,405,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	1,570,500		
教育・普及事業収入	14,644,600		
支援・助言事業収入	6,855,211		
交流・親睦事業収入	2,036,500	25,106,811	
3 寄付金収入			
個人寄付金	357,016		
法人寄付金	0	357,016	
4 助成金	636,264	636,264	
経常収入合計			41,505,091
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	6,578,069		
教育・普及事業費	10,562,981		
支援・助言事業費	7,073,081		
交流・親睦事業費	1,706,168	25,920,299	
2 管理費			
広報費	261,918		
交通宿泊費	4,483,281		
謝礼等	0		
会議費	136,970		
事務消耗品費	41,819		
通信運搬費	91,994		
諸会費	45,000		
雑費	368,842		
資料印刷費	666,684		
総会関係費用	538,523		
外部委託料	1,444,341		
支払手数料	485,785		
賃借料	926,380		
租税公課	299,800	9,791,337	
経常支出合計			35,711,636
経常収支差額			5,793,455
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	24,815	24,815	24,815
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			5,818,270
前期繰越収支差額			29,358,342
次期繰越収支差額			35,176,612

科目	予算	H29年度計	予算差異	予算比	決算内訳											
					事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	シンポジウム	ファシサポ	セミナー
<b>(資金収支の部)</b>																
<b>I 経常収入の部</b>																
1 会費・入金会収入																
個人会費	17,000,000	15,305,000	1,695,000	90.03%	15,305,000											
法人会費	200,000	100,000	100,000	50.00%	100,000											
2 事業収入	17,200,000	15,405,000	1,795,000	89.56%												
調査・研究事業収入	1,505,000	1,570,500	▲ 65,500	104.35%			97,500	83,500	14,000	138,000	82,000	20,000	1,135,500		14,644,600	
教育・普及事業収入	13,600,000	14,644,600	▲ 1,044,600	107.68%												
支援・助言事業収入	4,650,000	6,855,211	▲ 2,205,211	147.42%										6,855,211		
交流・親睦事業収入	3,369,000	2,036,500	1,332,500	60.45%								0				
	23,124,000	25,106,811	▲ 1,982,811	108.57%	339,000	94,500	877,000	114,000	513,500	98,500						
3 寄付金収入																
個人寄付金	10,000	357,016	▲ 347,016	3570.16%										357,016		
法人寄付金	0	0	0	—												
	10,000	357,016	▲ 347,016	3570.16%												
4 助成金等収入																
民間助成金	650,000	636,264	13,736	—										636,264		
	650,000	636,264	13,736	—												
当期収入合計	40,984,000	41,505,091	▲ 521,091	101.27%	15,405,000	339,000	192,000	960,500	128,000	651,500	180,500	20,000	0	1,135,500	7,848,491	14,644,600
<b>II 経常支出の部</b>																
<b>1 事業費</b>																
調査・研究事業費																
会場使用料	3,417,000	2,917,304	499,696	85.38%		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	シンポジウム	プロジェクト	
事務消耗品費	401,000	521,191	▲ 120,191	129.97%		117,360	106,900	1,101,464	250,080	333,410	112,700	213,270	57,240	624,880		
交通宿泊費	2,360,000	1,769,257	590,743	74.97%		5,518	22,847	162,324	104,289	120,294	14,484	19,302	8,352	63,781		
謝礼等	942,000	636,276	305,724	67.55%		89,220	0	250,000	111,370	130,000	0	0	0	55,686		
印刷費	308,200	120,625	187,575	39.14%		4,878	2,765	39,953	24,540	6,034	9,324	7,424	0	25,707		
会議費	486,000	149,692	336,308	30.80%		9,460	0	92,700	0	35,670	0	9,672	0	2,190		
雑費	455,800	426,211	29,589	93.51%		2,860	8,557	82,806	14,374	36,439	2,713	1,130	0	277,332		
外部委託料	127,000	37,513	89,487	29.54%		0	0	0	0	0	0	0	0	37,513		
研究開発費	180,000	0	180,000	0.00%		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	8,677,000	6,578,069	2,098,931	75.81%		388,186	298,859	1,911,447	765,643	978,843	322,074	395,954	414,654	1,102,409		
教育・普及事業費																
会場使用料	1,970,000	1,961,444	8,556	99.57%											セミナー	
事務消耗品費	150,000	224,569	▲ 74,569	149.71%											1,961,444	
交通宿泊費	3,600,000	2,753,858	846,142	76.50%											224,569	
謝礼等	4,340,000	4,669,559	▲ 329,559	107.59%											2,753,858	
印刷費	600,000	534,991	65,009	89.17%											4,669,559	
会議費	310,000	295,474	14,526	95.31%											534,991	
雑費	250,000	123,086	126,914	49.23%											295,474	
	11,220,000	10,562,981	657,019	94.14%											123,086	
支援・助言事業費																
会場使用料	30,000	77,800	▲ 47,800	259.33%											ファシサポ	
事務消耗品費	10,000	30,602	▲ 20,602	306.02%											77,800	
交通宿泊費	3,430,000	3,540,185	▲ 110,185	103.21%											30,602	
謝礼等	2,829,000	3,212,912	▲ 383,912	113.57%											3,540,185	
印刷費	20,000	195,550	▲ 175,550	977.75%											3,212,912	
会議費	15,000	5,000	10,000	33.33%											195,550	
雑費	45,000	11,032	33,968	24.52%											5,000	
	6,379,000	7,073,081	▲ 694,081	110.88%											11,032	
交流・親睦事業費																
会場使用料	1,432,000	316,120	1,115,880	22.08%		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州			7,073,081	
事務消耗品費	186,000	234,836	▲ 48,836	126.26%		60,640	19,890	167,200	0	48,540	19,850	0			GFPC	
交通宿泊費	670,000	319,900	350,100	47.75%		25,339	8,155	105,225	12,299	80,161	3,657	0			0	
謝礼等	512,000	166,704	345,296	32.56%		168,810	17,810	0	0	35,750	540	0			96,990	
印刷費	193,000	157,804	35,196	81.76%		0	21,704	0	0	100,000	45,000	0			0	
会議費	159,000	52,454	106,546	32.99%		70,426	4,374	33,625	17,257	7,060	25,062	0			0	
雑費	187,000	458,350	▲ 271,350	245.11%		0	7,120	27,600	3,004	13,830	0	0			0	
外部委託料	630,000	0	630,000	0.00%		86,726	600	248,617	48,498	48,281	25,628	0			900	
	3,969,000	1,706,168	2,262,832	42.99%		0	0	0	0	0	0	0			0	
事業予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.00%												
事業費計	31,245,000	25,920,299	5,324,701	82.96%		800,127	378,512	2,493,714	846,701	1,312,465	441,811	395,954	414,654	1,102,409	7,170,971	10,562,981
2 管理費																
広報費	570,000	261,918	308,082	45.95%	事務局	WEB	NL	詳細								
交通宿泊費	4,320,000	4,483,281	▲ 163,281	103.78%	71,618	190,300	0	パンフ増刷、プレスリリース、MLサーバ容量増設、新サーバ管理費用								
謝礼等	0	0	0	0.00%	4,126,078	169,806	187,397	理事会、拡大理事会、他各種委員会								
会議費	413,000	136,970	276,030	33.16%	0	0	0	会議費予備(役員合宿)								
事務消耗品費	50,000	41,819	8,181	83.64%	134,970	2,000	0	名刺代、その他備品消耗品								
通信運搬費	101,000	91,994	9,006	91.08%	0	0	0	郵便、電話、Zoom使用料 3契約								
諸会費	45,000	45,000	0	100.00%	0	0	0	シーズ、日本NPOセンター								
雑費	730,000	368,842	361,158	50.53%	0	352,990	0	NL発送経費他								
資料印刷費	1,201,000	666,684	534,316	55.51%	0	583,362	0	封筒、NL印刷費用								
総会関係費用	680,000	538,523	141,477	79.19%	0	538,523	0	会場費、備品、資料代、通信費								
外部委託料	2,200,000	1,444,341	755,659	65.65%	1,444,341	0	0	事務、会計税務、決算、決済サービス利用(発送含)、WEB外部委託他								
支払手数料	500,000	485,785	14,215	97.16%	485,785	0	0	振込手数料、EB使用料、会費払込手数料								
賃賃料	980,000	926,380	53,620	94.53%	926,380	0	0	家賃、倉庫(中部、関西)、セミナー倉庫代 他								
租税公課	300,000	299,800	200	99.93%	299,800	0	0	法人税均等割7万、消費税23万(8%)								
管理費計	12,090,000	9,791,337	2,298,663	80.99%	8,305,482	362,106	1,123,749									
当期支出合計	43,335,000	35,711,636	7,623,364	82.41%												
<b>III その他資金収入の部</b>																
その他資金収入合計	0	24,815	▲ 24,815		amazonアフィリエイト											
その他資金支出合計																
当期収支差額	▲ 2,351,000	5,818,270	▲ 8,169,270	-247.5%												

平成29年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(経費)	3,221,438		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(継続会費)	286,127		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(新規会費)	1,053,944		
普通預金 三井住友銀行	6,218,145		
普通預金 三井住友銀行	6,437,376		
普通預金 三井住友銀行	4,817,402		
普通預金 三井住友銀行	6,146,221		
当座預金 ゆうちょ銀行	11,202,454		
棚卸資産	0		
前渡金	826,698		
未収入金	10,407		
流動資産合計		40,220,212	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0		0
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			40,249,792
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3,447,061		
前受金	1,481,000		
仮受金	0		
預り金	145,119		
流動負債合計		5,073,180	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,073,180
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		29,358,342	
当期正味財産増加額		5,818,270	
正味財産合計			35,176,612
負債及び正味財産合計			40,249,792

平成29年度「その他の事業」活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

平成29年度「その他の事業」会計貸借対照表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

平成29年度会計財産目録

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	3,221,438	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	286,127	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	1,053,944	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,218,145	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,437,376	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	4,817,402	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,146,221	
当座預金 ゆうちょ銀行〇一九店	11,202,454	
棚卸資産	0	
前渡金 平成30年度会場代	826,698	
前払費用	0	
未収入金	10,407	
流動資産合計		40,220,212
2 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
3 投資その他の資産		
差入保証金 レンタルスペース	29,580	
資産合計		29,580
		<u>40,249,792</u>
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	3,447,061	
前受金 平成30年度年会費・受講料	1,481,000	
預り金 講師謝礼源泉所得税	145,119	
流動負債合計		5,073,180
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		5,073,180
正味財産		<u>35,176,612</u>

平成 29 年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

平成 30 年 4 月 15 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会  
会 長 平井 雅



---

### 監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会  
会 長 平井 雅 殿

特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

業務については月次の理事会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保障を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成 29 年度の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の財産の状況は適正なものと認められます。

平成 30 年 4 月 15 日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監 事 長橋 良智 

監 事 小寺 輝正 

## 平成30年度事業計画書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

### 事業計画のポイント

---

**平成30年度のFAJは、「対話と議論でFAJ活動の意義を問い直す」をキーワードとして以下の2点を重点的に取り組みます。**

- ・ファシリテーションの普及と探求を持続的に両立させるための対話と議論をスタートさせます
  - ・FAJの強みを活かし「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」活動を引き続き展開します
- 

日本ファシリテーション協会(FAJ)は、ファシリテーションの普及を通して自律・分散・協働型の社会を目指すNPOです。多くの会員が、FAJの活動の中でファシリテーションを学び、ビジネスや行政、地域コミュニティ、教育、医療、福祉など多様な分野で活用し、それぞれの現場で課題に立ち向かって試行錯誤しています。FAJは今年創設15周年を迎えます。日本各地で活用事例が増え、ファシリテーションの認知度が高まっている中で、私たちは何を求めてFAJという活動の場に参加し、そこから何を得ようとしているのか、FAJ活動を通して、どんな現場にどんなインパクト(成果)を届けようとしているのか、改めて問い直す時期に来ています。

この15年間でファシリテーションは一定の普及を見ました。振り返ってみると私たちの活動は、ファシリテーションといういわば“便利な道具”の存在を世に広く知らしめること、その道具の使い方を深めること、その道具を様々な分野で応用することに取り組んできました。そして何より、その“道具の使い手”としてのあり方や心がけを大切にしてきました。

一方でファシリテーションが広まって一般的になる中で、本来私たちが大切にしていたやり方、あり方とは違う使われ方であったり、異種混交が生まれたりしています。だからこそ、どれが正しくてどれが正しくないという議論ではなく、そもそもその原点に立ち返って、FAJはNPOとして何のために活動をするのかを問い直すことが必要です。

#### ■ファシリテーションの普及と探求を持続的に両立させるための対話と議論をスタートさせます

もちろん、全国組織であるFAJがこれまで蓄積してきた活動を持続的に展開することも大切です。そこで今年度は、15年の時を経て現在の規模にまで成長したNPOとして、ファシリテーションを量的に広めること(普及)と質的に深めること(探求)の両立を持続的に進めるため、2023年の20周年に向けて組織のあり方とやり方を考える取り組みをスタートさせます。オンラインミーティングの環境とノウハウが整いつつある中で、リアルでもオンラインでも全国の会員が対話と議論を重ねられるようチャレンジします。自律・分散・協働型の社会を目指す私たちだからこそ、それぞれが納得のいく対話と議論を重ねながら、私たち自身で組織のあり方とやり方の答えを探し、自ら体現していこうではありませんか！

#### ■FAJの強みを活かし「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」活動を引き続き展開します

ファシリテーションを活用して現場の課題解決や変革を加速させることは私たちの変わらぬ願いです。昨年度FAJのキャッチフレーズは「ファシリテーションのインパクトを現場に届ける」でした。インパクトとは、瞬間的な衝撃だけでなく、中長期的にジワジワと及ぼす成果をも意味します。私たち会員の活動が、個人やFAJ内の人脈形成とノウハウ向上に資するだけでなく、それぞれの日常の現場や、課題解決が求められるコミュニティにも成果として届けられるよう、FAJの強みを活かした活動を引き続き展開します。

また、上記2点を含めてFAJ活動を着実に展開するための、組織内コミュニケーションおよび組織外への発信の強化に取り組みます。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します(括弧内は担当組織を表します)。

## 1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、FAJ 内外の連携を深め、実践力の相互研鑽の場をつくっていきます。

### 1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会、プロジェクト)

- 定例会や例会、プロジェクトにおいては、地域やテーマの特性に合わせた運営を行いながら、ファシリテーションのインパクトを現場に届けるため、ファシリテーションの「普及」「探究」を意識した会員相互の研鑽の場をつくります。「学び」と「実践」双方の視点から、FAJ 内外のファシリテーターとの協働やオンラインでのファシリテーションの活用等を広げ、探求する場を設けます。
- 各支部・サロン・委員会の活動から生まれた、企画コンセプトやプログラムアイデアが交流、対話を通して共有され、相互に活かせる場をつくります。

### 2) ファシリテーションの本質を研究(シンポジウム実行委員会)

- ファシリテーションの知見を共有し深める「研究発表」、及び自身のファシリテーションの持ち味を知り成長の手がかりとするための「F力測定」の2つをメイン・プログラムとした、ファシリテーション・シンポジウムを北海道で開催します。

## 2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

教育・普及事業では、前年度に引きつづき、これまで提供してきた公開セミナーを継続強化するとともに、公開セミナーの新たな事業展開を推進し、将来の方向性を検討します。

### 1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- ファシリテーションの普及のため全国各地で公開セミナーを開催します。
- 今後も質の高いセミナーを継続的に開催できるよう、講師の増強、レベルアップを推進するとともに、セミナーコンテンツを継続的に改良します。
- 委員会内に、地域を越えて運営をサポートするセミナー・サポート・センター(SSC)を設置し、セミナー運営の効率化・相互協力をさらに図ります。

### 2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会、公開セミナー委員会)

- セミナー委員会内に実践編セミナー推進チーム(仮)を結成して、新コンテンツをブラッシュアップし、会員を対象に試行するとともに、実践編セミナーの位置づけや運営方法を検討、事業化につなげます。

## 3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

社会的課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、ファシリテーションを通して支援を行います。

### 1) 支援活動への理解の促進(ファシリテーションサポート委員会)

- 会員に対し支援活動へのさらなる理解を働きかけるとともに、対外的には本事業の効果・意義を伝えていきます。

### 2) 社会からの多様な要請に対する支援(ファシリテーションサポート委員会)

- ファシリテーションサポートデスクでは、企業・行政・NPO 等の多様な分野から寄せられる様々な相談に対して、抱えている課題やニーズを丁寧に聞き出すとともに、適切な人材をFAJ 内で発掘しながら、ファシリテーションを活用した支援をめざします。
- これまでの災害復興支援活動において関係を育んできた団体を中心に、被災地それぞれの復興フェーズに合わせた支援を行います。FAJ 内外において被災地の復興をファシリテーションで支援する人材の発掘・育成を行います。また、災害復興・防災・減災に役立つファシリテーションの普及に取り組みます。

### 3) 実践内容の分析及び社会的課題のサーチ(ファシリテーションサポート委員会)

- 事業開始からの案件を分析して、ファシリテーションに対するニーズの把握に努め、支援の強化が求め

られる領域・テーマを検討します。

#### 4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では各種イベントや関連団体との交流を通じて、FAJ の内外のつながりをさらに深めます。

- 1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)
  - 北海道・東北・東京・中部・関西・中国・九州各支部で地域イベントを開催することで、FAJ 内外の交流を深め、ファシリテーションの普及と探求を促進します。
- 2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化(理事会、グローバルファシリテーション推進委員会)
  - IAF-Japan との共催により IAF アジア大阪大会を 9 月に開催し、国内外のファシリテーターの交流を促進するとともに、ファシリテーションの知見やスキルの共有や相互活用、研鑽を深めます。
  - 災害復興支援室活動報告「ファシリテーション わたしたちができること」の英訳を完了し、HP で公開、国内外に情報提供します。
  - 在住外国人や日本語以外を母語とする方へのファシリテーションの提供を行うなど交流を促進します。
- 3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、本部事務局)
  - IAF をはじめとするファシリテーションの普及・研鑽に関わる団体と、協働パートナーとしての活動を進めます。
  - 引き続き、各分野で活動している外部団体とファシリテーションを軸にコラボレーションを進めます。また、FAJ 外部のファシリテーターとの連携を深めます。

#### 5 広報・コミュニケーション活動

ファシリテーションが社会にもたらすインパクトをより効果的に社会に伝えるとともに、FAJ のビジョンや活動を、将来の会員や支援先、協働パートナーに発信するための広報を展開します。また、会員相互の対話と議論を促進するコミュニケーション環境の充実を図ります。

- 1) FAJ 活動を内外に発信する広報活動の継続(ウェブ編集委員会、ニューズレター編集委員会)
  - FAJ 内外で活動する会員の知見や実践事例の収集と発信を積極的に継続し、会員の活動を促すニューズレターを発行します。
  - 引き続き、広報発信を支えるウェブサイトの充実と利便性の改善を図ります。
- 2) 広報戦略の立案と発信の強化(理事会、ウェブ編集委員会、ニューズレター編集委員会)
  - NPO 法人としての広報ターゲットを再定義のうえ、FAJ 活動を着実に伝えていくための広報戦略を立案します。
  - 広報ターゲットに合わせたコンテンツを制作するための体制をウェブ編集委員会内に設置し、試験的な運営を開始します。またその結果を踏まえ、将来的な広報体制を検討します。
- 3) 会員相互のコミュニケーション基盤検討(理事会、ウェブ編集委員会、ニューズレター編集委員会、事務局)
  - 会員相互のネットワークを生み出すため、FAJ 内部の対話と議論を促すコミュニケーション機能について検討を始めます。

#### 6 ミッション及び組織運営に関わる活動

全国の会員がリアル／オンラインの場で対話と議論を重ねながら、FAJ 活動の意義を問い直し、よりよい運営方法を考えることで、そのあり方とやり方を検討します。

- 1) 組織のあり方と運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)
  - 全国の会員を対象とした、未来に向けて FAJ の組織や活動のあり方を考えることができるような場づくりに取り組みます。併せて、今後の全国イベントについて検討します。
  - 各拠点の運営スタッフがよりよい運営方法について検討するため、組織横断的な交流と課題に関する話し合いの環境をつくります。(例:各拠点の課題について対話をする全国スタッフ会議)

## 2) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- FAJとしての活動を維持・向上させるために、NPO 法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

### FAJビジョン 3.0

#### タテ型社会の常識からヨコ型社会の知恵へ (社会の視点・ファシリテーションの視点)

- ① 社会を構成する多くの人が、**対話と議論の手法や知恵**を自ら学び活用し、協働している。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合いともに歩む**ヨコ型社会**を目指して変革をはじめている。

#### 強い意志を持ったイノベーターのネットワークへ (ファシリテーターの視点・FAJの視点)

- ③ 社会や組織の課題を解決したいと願う挑戦的な**イノベーター**が、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターの**ネットワーク型組織**が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。

### ビジョンを実現するためのFAJの行動

- ① 社会を構成する多くの人が、対話と議論の手法や知恵を自ら学び活用し、協働している。
  - FAJは、個々の思いを機敏に具現化して、着実にイノベーションへとつなげる集合知を創生する。
  - FAJは、課題解決や変革を必要としている組織・コミュニティにファシリテーションのスキルとマインドを届ける。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合い、ともに歩むヨコ型社会を目指して変革をはじめている。
  - FAJは、社会に深く根を張る上意下達型・ヒエラルキー型の思考様式と行動様式を打ち破り、多様な人々が自律的につながるネットワーク型組織の成功事例を、身をもって実現する。
  - ファシリテーションが生んだ成功事例を集め、その有用性や応用可能性、社会に与えるインパクトをアピールする。
- ③ 組織や社会の課題を解決したいと願う挑戦的なイノベーターが、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
  - FAJに集まる野心的なファシリテーターが、国際的紛争や新しい分野など、それぞれの現場に向き合って耕し、その課題解決に挑戦し、成果を上げている。
  - FAJに集まるファシリテーターが、ヨコ型社会における新しいリーダーシップに挑戦している。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターのネットワーク型組織が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。
  - FAJは、地域や特定分野での実践的な活動を支援する拠点やプロジェクトを臨機応変に立ち上げ、自覚と責任を持って変革を進める人々を輩出し、それらの場をつなぐネットワークのハブとなる。
  - FAJは、ファシリテーションに関する知識と経験を深めるため、研究と試行を重ね、地域や分野、世代を超えて実践者が刺激し合う相互研鑽の場となる。

### ミッション

ファシリテーションの普及を通じて、ビジネス分野においては、生産性・モチベーション・リーダーシップ力を向上させ、社会的な分野では、市民活動・地域経営・国際交流の質を高め、教育の分野では、多面的な視点を持つ人材を育成していくことをめざしています。

ビギナーからプロフェッショナルまで、ビジネス・まちづくり・NPO・教育・環境・医療・福祉など、多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の発展をめざして、幅広い活動を展開していきます。

以下、計画の詳細について記載します。

## 【A】特定非営利活動にかかる事業

### 1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション・シンポジウム	6月2日 6月3日	北海道	25名	会員220名、一般30名
北海道支部定例会	通年 (11回)	北海道	55名 (5名×11回)	会員330名、一般33名 (会員30名＋一般3名)×11回
東北支部例会	通年 (11回)	宮城	30名 (2名×11回)	会員150名、一般75名 年間11回
東京支部定例会	通年 (11回)	東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬等	330名 (30名×11回)	会員1210名、一般110名 (会員110名＋一般10名)×11回
中部支部定例会	通年 (11回)	愛知	66名 (6名×11回)	会員440名、一般77名 (会員40名＋一般7名)×11回
関西支部定例会	通年 (11回)	大阪・京都・兵庫	88名 (8名×11回)	会員638名、一般66名 (会員58名＋一般6名)×11回
中国支部定例会	通年 (11回)	広島	33名 (3名×11回)	会員132名、一般33名 (会員12名＋一般3名)×11回
九州支部定例会	通年 (11回)	福岡	33名 (3名×11回)	会員330名、一般55名 (会員30名＋一般5名)×11回
サロンサポート	—	地域型11カ所 テーマ型3カ所	—	—

### 2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (40クラス)	東京・大阪・愛知・広島・福岡等	200名 (5名×40クラス)	会員320名、一般480名 (会員8名＋一般12名)×40クラス
事業検討	未定	—	—	—

### 3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション サポート委員会	通年 (70回)	全国	140名 (2名×70回)	一般1,050名 (一般15名×70回)
サポートデスク				
災害復興支援 グループ	通年 (20回)	全国	40名 (2名×20回)	一般300名 (15名×20回)

### 4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバル ファシリテーション 推進委員会	9月	大阪他	20名	不特定多数
地域イベント	4月	東京	3名	会員5名、一般15名
	11月	愛知	10名	会員80名、一般20名
	未定	福岡	—	—
	未定	東京	—	—
	未定	札幌	—	—
	未定	仙台	—	—
	未定	大阪	—	—
	—	—	—	—

### 5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ニュースレター	3回	全国	24名 (8名×3回)	会員1,600名
ウェブサイト	通年	全国	20名	不特定多数
メーリングリスト等	通年	全国	20名	会員1,600名

### 【B】その他の事業

実施しません。

平成30年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファンリテーション協会

科目	H30年度予算	予算内訳												
		事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	プロジェクト	シンポジウム	公開セミナー	ファンサポ
<b>I 収入の部</b>														
1 会費収入														
個人会費収入	16,400,000	16,400,000												
法人会費収入	100,000	100,000												
	16,500,000	16,500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 事業収入														
調査・研究事業収入	1,529,500		10,000	112,500		80,000	50,000	50,000	24,000			1,203,000	13,981,000	
教育・普及事業収入	13,981,000													
支援・助言事業収入	6,900,000													6,900,000
交流・親睦事業収入	3,166,000													
	25,576,500		325,000	365,000	980,000	226,000	750,000	220,000	300,000	0	0	1,203,000	13,981,000	6,900,000
3 寄付金収入														
個人寄付金	400,000	400,000												
法人寄付金	0													
	400,000	400,000												
4 助成金収入														
民間助成金	0													
	0													
	0													
収入合計	42,476,500	16,900,000	335,000	477,500	980,000	306,000	800,000	270,000	324,000	0	0	1,203,000	13,981,000	6,900,000
<b>II 支出の部</b>														
1 事業費														
調査・研究事業支出			北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	プロジェクト	シンポジウム		
会場使用料	3,519,420		130,520	123,000	1,500,000	240,000	400,000	120,000	190,000	170,000	60,000	585,900		
事務消耗品費	515,000		17,000	40,000	160,000	40,000	120,000	15,000	36,000	17,000		70,000		
交通宿泊費	2,565,000		360,000	280,000	180,000	225,000	380,000	160,000	210,000	705,000		65,000		
謝礼等	821,685		56,000	56,000	200,000	224,000	170,000	10,000	50,000	会場使用料(各1万)		55,685		
印刷費	206,200		10,000	30,000	45,000	20,000	25,000	12,000	14,200	事務消耗品費(各0.1万)		50,000		
会議費	350,000		10,000	40,000	100,000	20,000	75,000	60,000	25,000	交通宿泊費(各3万,沖4.5万)		20,000		
雑費	186,238		3,000	20,000	90,000	10,000	30,000	5,000	4,800			23,438		
外部委託料	332,977		0	0	0	0	0	0	0	各3万円		332,977		
研究開発費	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0		
	8,496,520	0	586,520	589,000	2,275,000	779,000	1,200,000	382,000	530,000	892,000	60,000	1,203,000		0
教育・普及事業支出													公開セミナー	
会場使用料	1,945,000												1,945,000	
事務消耗品費	165,000												165,000	
交通宿泊費	3,035,000												3,035,000	
謝礼等	4,260,000												4,260,000	
印刷費	500,000												500,000	
会議費	240,000												240,000	
雑費	130,000												130,000	
研究開発費	0												0	
	10,275,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,275,000	
支援・助言事業支出														ファンサポ
会場使用料	65,000													65,000
事務消耗品費	15,000													15,000
交通宿泊費	4,280,000													4,280,000
謝礼等	2,630,000													2,630,000
印刷費	75,000													75,000
会議費	25,000													25,000
雑費	105,000													105,000
	7,195,000												0	7,195,000
交流・親睦事業支出			北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州				GFPC	
会場使用料	1,064,500		82,000	130,000	252,500	50,000	350,000	50,000	100,000				50,000	
事務消耗品費	181,000		10,000	10,000	81,000	10,000	35,000	10,000	25,000				0	
交通宿泊費	935,000		130,000	80,000	50,000	25,000	100,000	50,000	100,000				400,000	
謝礼等	497,000		56,000	80,000	100,000	56,000	115,000	40,000	50,000				0	
印刷費	189,000		30,000	40,000	49,000	10,000	30,000	20,000	10,000				0	
会議費	164,000		5,000	20,000	100,000	10,000	20,000	5,000	4,000				0	
雑費	314,000		12,000	5,000	100,000	50,000	100,000	15,000	2,000				30,000	
外部委託料	455,000		0	0	210,000	15,000	0	30,000	0				200,000	
	3,799,500		325,000	365,000	942,500	226,000	750,000	220,000	291,000				680,000	
事業予備費	500,000	500,000												
事業費計	30,266,020	500,000	911,520	954,000	3,217,500	1,005,000	1,950,000	602,000	821,000	892,000	60,000	1,203,000	10,955,000	7,195,000
2 管理費		事務局	WEB	(広報強化)	NL									
広報費	520,000	300,000	220,000		0									
交通宿泊費	8,220,000	5,600,000	400,000	1,600,000	620,000									
謝礼等	0	0	0	0	0									
会議費	900,000	850,000	30,000		20,000									
事務消耗品費	50,000	50,000	0		0									
通信運搬費	131,000	131,000	0		0									
諸会費	45,000	45,000	0		0									
雑費	610,000	10,000	0		600,000									
資料印刷費	928,500	75,000	0		853,500									
総会関係費用	680,000	680,000	0		0									
外部委託料	2,354,000	2,104,000	250,000		0									
支払手数料	500,000	500,000	0		0									
賃借料	980,000	980,000	0		0									
減価償却費	0	0	0		0									
租税公課等	300,000	300,000	0		0									
管理費計	16,218,500	11,625,000	900,000	1,600,000	2,093,500	0								
支出合計	46,484,520													
当期収支差額	-4,008,020													
前期繰越収支差額	35,176,612													
次期繰越収支差額	31,168,592													

<第3号議案> 平成30年度役員を選任について

(普通決議:総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 平成30年度の理事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 荒金 雅子  
再任 加藤貴美子  
再任 亀井 直人  
再任 小池 秀裕  
再任 鳥羽 秀人  
再任 中西 百合  
再任 中野 功  
再任 平井 雅  
再任 山根 弘和  
新任 竹本 記子  
新任 本宮 大輔

2. 平成30年度の監事候補者 (敬称略、50音順)

再任 長橋 良智  
再任 小藤 輝正

<第4号議案> 定款の一部変更について

(特別決議:総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決)

変更理由:平成29年7月に、法務局より役員任期について以下の定款の表現を変更するよう勧められた。役員任期について1年としながら、総会開催時期によっては1年を待たずに辞任届けを出すといった、実態に合わない手続きが発生することとなっていたため。(第16条)

定款の一部を、以下の通り変更する。

変 更 前	変 更 後
(任期等) 第16条 役員任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。 2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。 3 補欠のため、又は増員によって就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。 4 役員は、辞任又は任期満了後においても、	(任期等) 第16条 役員任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。 2 前項の規定に関わらず、 <u>任期満了前に、総会において後任の役員が選任された場合は、当該総会が終結するまでを任期とする。また、任期満了後、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後、最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。</u> 3 補欠のため、又は増員によって就任した役

<p>後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。</p> <p>5 理事の再任は、累計5期を限度とする。ただし、5期目に会長に就任した理事については、累計6期まで伸長できるものとする。</p> <p>6 監事の再任は、累計3期を限度とする。</p>	<p>員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。</p> <p>5 理事の再任は、累計5期を限度とする。ただし、5期目に会長に就任した理事については、累計6期まで伸長できるものとする。</p> <p>6 監事の再任は、累計3期を限度とする。</p>
---	---